

ひろしま障害者雇用ビジネスモデルの策定について

平成 26 年 12 月
広島 県

1 趣 旨

広島県障害者プラン（第3次広島県障害者計画（計画期間：平成26～30年度））において、雇用の促進を重点的な取組と位置付け、障害者が社会を構成する一員として経済的に自立し、安定した生活ができるよう、一人ひとりの障害特性や意欲、適性及び能力に応じて雇用し、自立した生活が可能な賃金を支払う企業等の増加に取り組むこととしている。

このため、障害者雇用に積極的に取り組み、実績を上げている企業や就労継続支援A型事業所等の成功例に着目して、障害者雇用を成功させるための仕組みを「ビジネスモデル」として策定した。

今後、この「ビジネスモデル」を推奨して、県内企業の障害者雇用を促進する。

2 ビジネスモデル策定の概要

(1) 策定の経緯

広島県障害者雇用促進会議（経済団体、障害者就労支援関係機関及び行政機関（17機関）で構成）において策定方法や内容について検討を行った。

開催年月日	会 議 名	主な検討内容
H26. 5. 23（金）	第1回広島県障害者雇用促進会議	・平成26年度事業計画 ・ビジネスモデルの骨子
H26. 10. 27（月）	第2回広島県障害者雇用促進会議	・ビジネスモデル案 ・ビジネスモデルの普及啓発

(2) 策定に当たり調査した企業等

県内において、障害者雇用に積極的に取り組み、実績を上げている企業等の中から障害者雇用の企業形態と業種を考慮し、広島県障害者雇用促進会議での検討を踏まえて選定した。

名 称	業 種	障害者雇用の企業形態
デリカウイング株式会社	食料品製造業	一般の企業
株式会社フレスタ	各種商品小売業	
株式会社ハートコープひろしま	技術サービス業	特例子会社
エフピコ愛パック株式会社	プラスチック製品製造業	就労継続支援A型事業所
社会福祉法人清風会	洗濯業	

3 ビジネスモデルの推奨

(1) 地域別、業界団体ごとの説明会・相談会によるビジネスモデルの推奨

ア 障害者就業・生活支援センター等と連携して地域別に説明会・相談会を実施して推奨する。

イ 業界団体の会合、研修会等を活用して業界団体ごとに説明会・相談会を実施して推奨する。

(2) 企業等に対するチーム型の個別支援

ビジネスモデルを活用して障害者雇用を進めようとする企業等に対し、専門家によるチーム型支援を行う。

(3) ビジネスモデルの配付

経済団体、障害者就労支援関係機関及び行政機関を通じて企業等に配付するとともに、中小企業等総合相談会等のイベントにおいて配付する。